



キッズ教育 NEWS

202002号

物事の『表と裏』から『気遣い』ができるプロセス

この度コロナウイルス感染症で全国に緊急事態宣言が発令されました。Kids21は学習塾の事業区分にあたるため、休業要請に応じ休講することに致しました。今回の事態は正に様々な不安、思惑、現実などが複雑に絡み合って起きているもので、最終的には命という問題に直結しています。そして多くの人が関わるといふことは、様々な立場の人々が考えているということです。そこには表と裏が必ず存在します。では休業要請が何故出たのか、ちょっと考えてみましょう。またこの話題かと思っただ方はぜひ最後の文章を読んでから読み始めてください。

「新型コロナウイルスによる感染者の増加によって、社会機能が麻痺する」そのために、「3つの密を避けることによって感染の防止につながる」だから人と接触しないでください。というのが表向きです。ではこの物事の裏側とは一体？それは命の選択という責任を取りたくないということです。大抵の失敗というのは犠牲を支払うことで解決します。自分の評価、立場、世渡りが上手い人なら誰かに助けてもらったり、押し付けたりします。しかし命だけは別です。命だけは同等な対価が存在しません。ですが、医療現場では選択をする出来事が存在します。それはトロッコ問題とも言われるものです。線路上を走るトロッコが制御不能になり、そのまま進むと5人の作業員が確実に死に、5人を救うために分岐点を切り替えると1人の作業員が確実に死ぬという状況下で、線路の分岐点に立つ人物はどう行動すべきかを問う倫理上の問題のことです。事態が変化する医療現場では限られた医療機材や人員で「誰が誰にどの様な処置をするのか」選択をしなければいけない場合があります。現場の人間であれば覚悟していることです。しかし、感染を広めるということ、アルバイトの大学生や、必死に接待をしているサラリーマン、趣味やスポーツに没頭している人たち、いわゆる一般人がその責任を無自覚に背負うこととなります。それを避けるために、「人との接触を避けてください」というのが一つの裏側です。

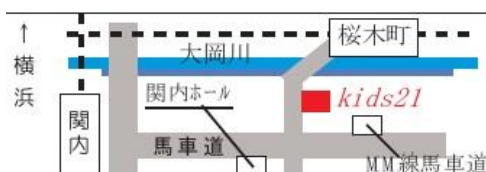
実はここまでの文章を書いたのは私の思考のプロセスです。これは私が、見て、聞いて、考え、置き換えたものになります。それは客観的な学問上の事実と、現代人として育ってきた私の主観的な倫理観です。ここで私が皆様にお伝えしたいことは、気遣いを行うためには考える力が必要であるということです。一見小難しいような気がしますが「年配者に席を譲る」ことと同じプロセスです。事実を受けて考え行動する。これは面接や志望動機などでもみられるポイントです。気遣いが出来る人はよく考えているのかもしれませんが。このような事態ではありますが、ぜひ前向きに捉えて頂ければ幸いです。

発行 キッズ 21

コラム 中山 仁智

住所 〒231-0011 横浜市中区太田町 5-66 深堀ビル 3F

TEL 045-719-2530 FAX 045-719-2530



免許皆伝おめでとうございます！

■数字 3級 合格

藤田さやちゃん 4歳

■免許皆伝 掛け算 合格

岡本 杏ちゃん 6歳

■免許皆伝 運動 合格

藤田さやちゃん 4.1歳

池田和奏ちゃん 5.2歳

寺田泰陸くん 5.4歳

栗野智也くん 4.3歳

川奈野莉央ちゃん 5.6歳

■掛け算 1級 合格

岡本 杏ちゃん 5.11歳

■免許皆伝 カタカナ 合格

小沼海琴ちゃん 5.5歳

■免許皆伝 ひらがな 合格

川奈野莉央ちゃん 5.6歳

池田和奏ちゃん 5.2歳

寺田泰陸くん 5.4歳



2020年も次の目標に向け取り組みましょう!!



岡本 杏 ちゃん 横浜市立浜小学校
日高 悠太くん 関東学院六浦小学校
山田 怜 ちゃん 暁星国際小学校
加藤 大舞 くん インターナショナルスクール
山野井 梨乃ちゃん 青山学院横浜英和小学校
M.A ちゃん 青山学院横浜英和小学校



10年後の息子は、夢を追う少年の姿が目に移ります。友達たちと共に外で実際に虫を触ったり、走ったりして活動に動き回る少年の姿を想像します。また、将来の夢であるパイロットになるという自身の夢を諦めずに机に向かい宿題に取り組む姿、その机の上には飛行機の模型があるかな？どんな事でも一生懸命に取り組む最後までやり通す意思を持つ息子を私は10年後の姿として想像しています。

T.A くんのお父様より